

代謝に影響を及ぼし得る抗HIV薬は、高齢者には慎重に使用

影響	慎重投与	コメント
CVD	リトナビルでブーストしたPI ¹ ABC ²	糖尿病、または高インスリン血症を有する患者には避けるべきである ¹ 。 いくつかのコホートにおいて、心筋梗塞リスクの増加と関連づけられている ² 。
腎臓*	TDF	NRTIのTAFは、TDFよりも腎臓への有害作用を示す可能性が低い ³ 。
肝臓	PI NVP ⁴	使用開始の数ヵ月後に、肝毒性が発現する可能性がある。
骨	TDF ⁴ EFV、ZDV	TAFは、TDFよりも骨への有害作用を示す可能性が低い ⁵ 。 ビタミンD濃度に影響を及ぼす可能性がある。
中枢神経系	EFV	浮動性めまい、不眠症、集中力障害 ⁵
体重増加	INSTI TAF	INSTI> 抗HIV薬の他のクラス ⁶ TAF> TDF ⁷

*有効なARTはHIVANの進行を止めることができるため、避けるべきではない。

1. Abrass CK, et al. *J Am Geriatr Soc.* 2012;60:974-979. 2. US DHHS Adult and Adolescent Guidelines, 2022. 3. Sax PE, et al. *Lancet.* 2015;385:2606-2615. 4. CDC. *Morb Mortal Wkly Rep.* 2001;49:1153-6. 5. McComsey G, et al. *J Infect Dis.* 2011;203:1791-1801. 6. Sustiva package insert. 2017. 7. Lake JE, et al. *Curr Opin HIV AIDS.* 2021;16(3):148-151.